

委員会セッションについて

第10回学術大会時に、各種委員会企画のセッションを開催いたします。

下記詳細を確認のうえ会員の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：セッションⅠ・Ⅱ/2019年12月7日（土） 16：40～17：40

セッションⅢ /2019年12月8日（日） 8：50～10：00（70分）

※参加者は開始時間に注意してください。

参加方法：事前参加登録は不要ですが、会場の関係で着席が難しい場合もございます。

委員会セッションⅠ（研究倫理審査委員会）

開催場所：5階大ホール

『書いてみましょう！研究計画書を』～作成のためのポイント～

座長 野口 有紀（静岡県立大学短期大学部）

講師 日下 和代（東京歯科大学短期大学）

犬飼 順子（愛知学院大学短期大学部），荒川 浩久（神奈川歯科大学）

荒川 真（千葉県立保健医療大学），近藤 圭子（東京医科歯科大学）

藤田美枝子（静岡県立大学短期大学部）

研究者にとって研究計画書を作成するという作業が、最初の難関かもしれません。漠然とこういうことが知りたいとか、この方法でやればいいんだなど、頭の中で思い描いてもなかなか文章にできないのです。そこで、本セッションでは、研究倫理審査を受けるための研究計画書の書き方のイメージをつかんでいただくために、研究計画書についてわかりやすく解説をいたします。

ご自分で作成中の研究計画書とセッション内容と照らし合わせていただきますと、より具体的なイメージがつかみやすいと思います。ぜひ、ご持参ください！

『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』では、研究者等の研究倫理についての教育・研修受講年1回以上が望ましいとされています。本セッション16時40分～終了まで参加した会員の皆様には、セッション終了時に学会参加証へ「受講済」の捺印をいたします。

委員会セッションⅡ（教育問題検討委員会）

開催場所：5階視聴覚室

「多職種連携のできる人材を育てるために～看護大学における看護職の育成の試み～」

講師：青木 久恵（福岡看護大学基礎・基礎看護部門基礎看護学分野 教授）

コーディネーター 前田 尚子（三重県立公衆衛生学院）

日下 和代（東京歯科大学短期大学）

本間 和代（明倫短期大学・非常勤）

上浦 環（長野県公衆衛生専門学校）

金子佳代子（東京都歯科医師会附属歯科衛生士専門学校）

第9回学術大会（新潟）において、「歯科衛生教育におけるIPE（多職種連携教育）を考える」をテーマに本委員会セッションを開催したところ、参加者からこのテーマの継続的な講演を希望する声が多く寄せられました。今回は、多職種連携のできる人材育成を目的に、福岡看護大学教授 青木久恵先生をお招きし、表題の講演会を企画しました。現在、看護職の育成において行われている多職種連携の現状とカリキュラムの組立て、さらに、教育心理学に基づいた看護教育の実践についてご講演いただき、今後、我々が歯科衛生教育にIPEを取り入れていく契機へつなげたいと考えます。

委員会セッションについて

第10回学術大会時に、各種委員会企画のセッションを開催いたします。

下記詳細を確認のうえ会員の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：セッションⅠ・Ⅱ/2019年12月7日（土） 16：40～17：40

セッションⅢ /2019年12月8日（日） 8：50～10：00（70分）

※参加者は開始時間に注意してください。

参加方法：事前参加登録は不要ですが、会場の関係で着席が難しい場合もございます。

委員会セッションⅢ（学術・企画委員会）

開催場所：5階大ホール

テーマ：「歯科衛生士教育における歯科衛生過程のアウトカム」

内容：

現在、多くの学校で実践されている歯科衛生過程について本セッションでは、歯科衛生過程の教育の取り組みから始まり書面化の効果的な指導法や教育の実践例、さらに発展させ、問題志向型を取り入れた書面化指導のコツについて企画してきました。その間には、日本歯科医学会より歯科専門職種が行う口腔のケアを「口腔健康管理」と定義づけられ、「歯科衛生士の倫理綱領」が日本歯科衛生士会により策定されました。また、全国歯科衛生士教育協議会の教育問題検討委員会では、歯科衛生学の確立に向けた考え方の方向性や標準的な教育内容の選択も含めた新たな検討がはじまっています。これらの状況から、歯科専門職との連携はもとより、患者を中心に多職種が同じ目標に向かってアプローチする授業展開が必要となり、歯科衛生士教育にも積極的に取り入れたいところです。

そこで本セッションでは、3年間にわたる歯科衛生過程の教育法のアウトカムをテーマに、教育での課題や改善策などについて意見交換することを目的とします。ミニレクチャーは、歯科衛生過程を修得した学生が卒業したのちに臨床の現場でそれをどのように活用しているのか、臨床の実践と教育との現状について分析します。また、看護の現場で実践されている看護過程の背景や看護の視点に基づいた現状についてアプローチしていただきます。

ミニレクチャー：

歯科衛生過程の教育効果

大塚めぐみ（熊本歯科衛生士専門学校 教務副主任）

看護教育における看護過程の現状

村田 節子（福岡看護大学 健康支援部門 成人看護学教授）

タイムスケジュール：

8：50～ 8：55 セッションの目的と進め方

8：55～ 9：15 ミニレクチャー 大塚めぐみ先生 20分

9：15～ 9：35 ミニレクチャー 村田 節子先生 20分

9：35～ 9：45 意見交換（短い時間ですが、教育の悩みや解決のヒントなどを共有しましょう）

9：45～ 9：55 発表

9：55～10：00 まとめ・アンケート記入

主催 学術・企画委員会

合場千佳子（日本歯科大学東京短期大学）、秋山 恭子（埼玉県立大学）

池田亜紀子（日本歯科大学東京短期大学）、江川 広子（明倫短期大学）

頭山 高子（大阪歯科大学）、古川絵理華（愛知学院大学短期大学部）

宮崎 晶子（日本歯科大学新潟短期大学）